

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(実施状況及び効果検証)

R5.11.14(火)更新

No.	補助・単独	交付対象事業の名称 【担当課】	「実施計画」策定時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	成果目標(可能な限り定量的な指標を設定)	事業 始期 (年月日)	事業 終期(年月日)	総事業費 (円)	交付金 充当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
1	単	労働安全衛生経費 【人事課】	①新型コロナウイルス感染症について、職員の感染が判明した後の感染拡大防止を目的とする。 ②新型コロナウイルス抗原検査キット購入経費 ③20,240円×80箱(1箱25本入)=1,619,200円 ④市職員及び関係者	検査対象職場での検査率 100%	R4.7.21	R5.3.31	1,619,200	1,619,200	市役所内での感染症拡大防止のために、抗原検査キットを購入した。20,240円×80箱(1箱25本入)=1,619,200円	陽性者が出た際に、所属部署や接触者に対して素早く検査を実施したことにより、感染拡大を防ぐことが出来た。 【担当課評価】
2	単	庁舎等管理経費 【総務管財課】	①福祉事務所のトイレを抗菌仕様・蓋付の洋式に改修することで飛散を防ぎ、執務室出入口の自動ドア化及び2階事務スペースを確保することで、衛生機能環境の改善、3密回避対策し新型コロナウイルス感染拡大防止を図る。 ②福祉事務所トイレ等改修工事経費 ③福祉事務所トイレ等改修工事費 10,654千円、設計委託料 1,200千円 直接工事費 6,156千円 共通費 共通仮設費 336千円 現場管理費 1,820千円 一般管理費 1,373千円 消費税 969千円 設計委託料一式 1,200千円 ・和式トイレから洋式トイレに改修、自動開閉、自動水栓(3カ所) ・手洗い場自動水栓(3カ所) ・小便器自動水栓(2カ所) ・多目的トイレ自動開閉、自動水栓(オスメイト併設) ・福祉事務所1階執務室出入口自動ドア ・執務室の壁、2階トイレ壁撤去 ④福祉事務所	施設利用に起因する新型コロナウイルス感染者数0人及びクラスター発生件数0件  洋式トイレ(3カ所)、自動水栓(5カ所)、多目的トイレ自動開閉、自動水栓(オスメイト併設)、福祉事務所1階執務室出入口の自動ドア化の年度内整備完了	R4.7.15	R5.3.31	9,217,286	9,217,286	福祉事務所のトイレ、執務室の改修を実施した	福祉事務所のトイレや執務室の改修を行うことで、衛生環境の向上により感染症予防対策につながった。 【担当課評価】  福祉事務所のトイレ、執務室の整備(改修)により感染症対策が講じられ、安心して使えるようになった 【対象者等からの評価】
4	単	交通系ICカード整備事業費 【連携のまちづくり推進課】	①新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として交通系ICカードを整備するバス事業者に対する支援 ②交通系ICカード導入費用 ③30,718千円(県と沿線市町で補助額を按分) ④市内乗合バス事業者	バス利用に起因する新型コロナウイルス感染者数0人  利用者数減少によるバス路線廃止本数:0件	R4.9.6	R5.3.31	29,241,000	29,241,000	益田市交通系ICカード整備事業費補助金 1件(1事業者):29,241,000円	非接触型のICカードを導入したことで、感染症拡大の防止対策が図られ、乗降がスムーズになった 【対象者等からの評価】
5	単	シルバーふれあいサロン補修改善事業費 【高齢者福祉課】	①コロナ禍においても、高齢者の生きがい活動や介護予防活動が継続できるよう、新型コロナウイルス感染症対策として、換気機能の向上を図り、安全で快適な環境を提供するため、空調機器(空気清浄機能付きエアコン、換気扇)等の補修改善を行う。 ②空調機器等補修改善経費 ③空冷ヒートポンプエアコン 1台 1,273,800円 ルームエアコン 2台×203,500円=407,000円 ルームエアコン 1台 242,000円 全熱交換機換気扇 2台×88,000円=176,000円 取り付け費 1,305,254円、撤去工事 180,593円 発生材処理 88,253円、現場管理費 650,100円 一般管理費 627,000円 合計4,950,000円 ④シルバーふれあいサロン	施設利用に起因する新型コロナウイルス感染者数0人及びクラスター発生件数0件  空冷ヒートポンプエアコン(1台)、ルームエアコン(3台)、換気扇(2台)の年内設置完了	R4.7.29	R4.9.4	4,950,000	4,950,000	空冷ヒートポンプエアコン1台 ルームエアコン 3台 全熱交換機換気扇 2台 設置  上記空調機器等の補修改善を行い、補助金4,950,000円交付。	空調機器等の補修改善により、熱中症対策及び新型コロナウイルス感染症対策につながった。 【担当課評価】  介護予防活動を行うにあたり、熱中症や新型コロナウイルス感染症防止対策を行いながら、円滑に事業を継続できている。 【シルバーふれあいサロンの職員の方からの評価】
6	単	地域子育て支援センター事業費 【子育て支援センター】	①新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、男女兼用となっているトイレについて、飛沫防止効果のある便座式トイレ1基を新設し、併せてパーテーションを改修し、隔離空間の確保を図る。 ②トイレ改修工事経費 ③工事請負費1,350千円 直接工事費 750千円 共通費 共通仮設費 30千円 現場管理費 268千円 一般管理費 179千円 消費税 123千円 ④子育て支援センター	施設利用に起因する新型コロナウイルス感染者数0人及びクラスター発生件数0件  洋式トイレ(1台)、隔離空間整備の年度内完了	R4.4.24	R5.3.17	1,086,400	1,086,400	飛沫防止効果のある便座式トイレ1基を新設した。併せてパーテーションを改修し、隔離空間を確保した。	便座式トイレが1基しかなく男女兼用となっていたため、導線が一方である上に、感染防止にかかるスペースが十分に取れない状態であったが、今回の改修により導線が二方向となり、パーテーションを移動して空間も確保できた。施設の利用者さんからは好評をいただいております。特にお父さんから感謝のお言葉をいただいた。 【対象者等からの評価】

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(実施状況及び効果検証)

R5.11.14(火)更新

補助・単独	No.	交付対象事業の名称 【担当課】	「実施計画」策定時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	成果目標(可能な限り定量的な指標を設定)	事業始期(年月日)	事業終期(年月日)	総事業費(円)	交付金充当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
8	単	上下水道安定供給対策事業費 【上下水道部業務課】	①【目的】水道事業は安全な水を安定して供給することが必要であり、新型コロナウイルス感染拡大となった場合でも、職員を分散し、業務を行うための施設を整備する。 【効果】分散勤務を行うことにより、職員が感染者あるいは濃厚接触者になった場合でも、最小限の感染で食い止められ、継続して業務を行うことができる。 ②益田市水道事業会計に繰り出し、下記③に要する費用を交付 ③・通信ネットワーク整備工事:300千円×1式=300千円(見込) ・パソコン:200千円×1台(見込) プリンタ:200千円×1台(見込) LANケーブル及び机等周辺:100千円×1式(見込) ・感染防止対策用品等購入費 マスク、パーテーション等:200千円×1式(見込) ④益田市水道事業	分散勤務の実施による新型コロナウイルス感染者数0人及びクラスター発生件数0件  ネットワーク工事、パソコン(1台)、プリンタ(1台)、感染防止対策用品の年度内整備完了	R4.6.1	R5.3.31	1,000,000	1,000,000	通信ネットワーク整備工事 パソコンソフト 空気清浄機 3台 非常用飲料水袋	○分散勤務が可能な環境が整った事により、上下水道事業の水の安定供給の体制維持が図れるようになった。 ○分散勤務が可能になったことで、リスクの低減につながり、快適な環境のもとで現状と同様に執務をすることができた。 【担当課評価】
9	単	集会研修施設等管理経費 【農林水産課】	①【目的】集会研修施設の衛生設備について、非接触化(トイレは抗菌仕様・蓋付の洋式に改修することで飛散を防ぐ)等の整備をすることにより、新型コロナウイルスの感染拡大の防止を図る。 【効果】新型コロナウイルス感染拡大防止のための設備が整うことにより、安心して使用することが出来る施設となり、コロナ禍においても地域住民の集会や農業者の研修が、滞ることなく行うことが出来る。 ②衛生設備修繕工事費、設計委託料 ③小便器自動水栓:100千円×4=400千円 手洗い自動水栓:320千円×6=1,920千円 トイレ洋式化:600千円×4=2,400千円 設計委託料一式:1,100千円 ※その他財源の内訳(一般財源:178千円充当) ④益田市立開発地営農研修センター 益田市立ホテルの里農業センター	施設利用に起因する新型コロナウイルス感染者数0人及びクラスター発生件数0件  自動水栓(10カ所)、トイレ(4カ所)の年度内整備完了	R4.7.15	R5.3.20	4,048,714	4,048,714	対象の2施設について、感染症予防対策として、衛生設備の改修工事完了。	設備改修による非接触化が実現し、感染症予防対策につながった。 【担当課評価】  感染症対策が講じられ、安心して使えるようになった 【対象者等からの評価】
10	単	産業振興推進事業費 【産業支援センター】	①コロナ禍の中で商品開発や販路開拓など新たな取組を支援する。 ②③旅費、通信運搬費、委託料など、その他市長が認める経費であって、事業に直接ようするもの ○商品開発等上限500千円(補助率1/2)、4件(見込:1,100千円) ※「商品開発等」については、全件上限額とは見込んでいません。 ○販路開拓等上限100千円(補助率1/2)、4件(見込:400千円) ④市内に本社所在の法人又は市内に居住地を置く個人事業主	支援事業所数 のべ8件 内訳 商品開発2件 商品改良2件 販路開拓4件	R4.4.1	R5.3.31	262,000	262,000	支援事業数 3件 ・商品開発 1件 ・販路開拓 2件	成果目標には達しなかったが、商工団体等と連携して新型コロナウイルス感染症の影響下においても、新商品の開発や販路開拓などに取り組み事業者を支援により産業振興が図れた。 【担当課評価】
11	単	新事業チャレンジサポート事業費 【産業支援センター】	①コロナ禍の中で新分野への挑戦や業種転換等への取組を支援する。 ②③施設改修費、備品購入費、広告宣伝費、消耗品、その他市長が認める経費であって、事業に直接要するもの 上限1,000千円(補助率4/5以内)×5件(見込) ④市内に本社を有する法人及び個人事業主、市税滞納がないこと、島根県企業立地促進条例に規定する認定の対象でないこと。	支援事業所数 5件	R4.4.22	R5.3.31	4,881,000	4,881,000	支援事業所数 6件	新型コロナウイルス感染症の影響下においても、15件の申請があり、支援機関等による審査の結果6件の新たなチャレンジに向けて支援が出来た。 【担当課評価】  コロナ禍での支援で助かった。新たなチャレンジに向けて積極的な設備投資が出来た。予算・公募回数の増を希望する。 【対象者等からの評価】

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(実施状況及び効果検証)

R5.11.14(火)更新

No.	補助・単独	交付対象事業の名称 【担当課】	「実施計画」策定時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	成果目標(可能な限り定量的な指標を設定)	事業始期(年月日)	事業終期(年月日)	総事業費(円)	交付金充当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
12	単	経済回復支援事業費 【産業支援センター】	①新型コロナウイルスの影響の長期化を見据えて、新たな「地産地消や地域循環」「新たなコミュニティの創出」に向けた取組を支援する。 ②③ 【連携支援事業】 ・複数の交付対象者が連携して取組む商品券発行事業 ・上限8,000千円×1件(見込) 【重点支援事業】 ・地域経済の回復に向けて、地産地消の推進、地域内循環の向上その他地域経済活性化に向けて重点的に取組む事業 ・上限4,000千円、見込3,000千円×2件 ④商工団体等(商工会議所、商工会、商店会など)と観光協会、任意団体	支援事業数 3件	R4.7.1	R5.3.31	11,215,000	11,215,000	支援事業数 2件 ・プレミアム商品券事業 ・ふるさと産品フェア	各団体において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に配慮した地域経済の向上を行うことができた。 【対象者等からの評価】
13	単	緊急信用保証料補助金 【産業支援センター】	①②島根県制度融資(セーフティネット資金:新型コロナウイルス感染症対応枠)を利用する際に島根県信用保証協会に支払う信用保証料の全額を支援する。 ③1の事業者につき上限400千円、13件(見込:5,000千円) ※全件上限額とは見込んでいません。 ④県制度融資を利用する市内事業者、個人事業者	支援事業所 13件	R4.7.1	R5.3.31	2,719,000	2,719,000	支援事業所数 18件	保証協会とも連携し制度周知に力をいれ、成果目標を達成することが出来た。 【担当課評価】 資金繰りに苦慮する事業者にとって、融資を受けやすい環境を整えることが出来た。 【対象者等からの評価】
14	単	観光地環境改善事業 【観光交流課】	①市内観光地及びキャンプ場の新型コロナウイルス感染症対策に伴う施設改修(トイレは抗菌仕様・蓋付の洋式に改修することで飛散を防ぐ)を行う。 ②洗面所及びトイレの改修工事及び工事に係る設計委託料 ③【委託料】市内各所トイレ改修工事設計委託 5,000千円 【工事請負費】市内各所トイレ改修工事 22,360千円 ・蟠竜湖 男女トイレ洋式化(3基) 1,800千円、手洗い場自動水栓化(4カ所) 1,280千円 ・三里ヶ浜ビーチハウス 女子トイレ洋式化(2基) 1,200千円、小便器自動水栓化(2基)・手洗い場自動水栓化(3カ所) 1,160千円 ・七尾公園 男女トイレ洋式化(2基) 1,200千円、小便器自動水栓化(1基)・手洗い場自動水栓化(1カ所) 420千円 ・匹見広域観光ルート 男女トイレ洋式化(7基) 4,200千円、小便器自動水栓化(3基)・手洗い場自動水栓化(5カ所)ほか 4,300千円 ・匹見レストパーク 男女トイレ洋式化(5基) 3,000千円、小便器自動水栓化(6基)・手洗い場自動水栓化(10カ所) 3,800千円 ④益田市、対象施設(蟠竜湖、三里ヶ浜ビーチハウス、七尾公園、匹見広域観光ルート、匹見レストパークのトイレ)	施設利用に起因する新型コロナウイルス感染者数0人  トイレ洋式化(19基)、小便器自動水栓化(12基)、手洗い場自動水栓化(23カ所)の年度内整備完了	R4.7.1	R5.3.31	20,273,946	20,273,946	○益田(蟠竜湖、持石海岸三里ヶ浜海岸ビーチハウス、七尾公園) トイレ改修工事設計業務委託料 2,255,000円 トイレ改修工事費 5,610,000円  ○美都・匹見(広域観光ルート、匹見レストパーク) トイレ改修工事設計業務委託料 ・広域観光ルート 678,870円 男女トイレ洋式化(7基→3基)、手洗い場自動水栓化(5カ所→4カ所) ・匹見レストパーク 1,941,176円 トイレ改修工事 ・広域観光ルート 5,622,584円 ・匹見レストパーク 4,166,316円	トイレの洋式化及び抗菌仕様の自動水栓等に変更したことで、新型コロナウイルス感染症予防対策につながった。 【担当課評価】 利用者から快適に利用できるようになったと意見があった。 【対象者等評価】
15	単	温泉施設環境改善事業 【観光交流課】	①美都温泉「湯元館」屋外トイレの新型コロナウイルス感染症対策に伴う施設改修(トイレは抗菌仕様・蓋付の洋式に改修することで飛散を防ぐ)を行う。 ②美都温泉「湯元館」屋外トイレの洗面所及びトイレの改修工事及び工事に係る設計委託料 ③【委託料】美都温泉「湯元館」屋外トイレ改修工事設計委託料 700千円 【工事請負費】美都温泉「湯元館」屋外トイレ改修工事 1,940千円 男女トイレ洋式化(2基) 1,200千円、小便器自動水栓化(1基)・手洗い場自動水栓化(2カ所) 740千円 ④益田市、対象施設(美都温泉「湯元館」)	施設利用に起因する新型コロナウイルス感染者数0人及びクラスター発生件数0件  トイレ洋式化(2基)、小便器自動水栓化(1基)、手洗い場自動水栓化(2カ所)の年度内整備完了	R4.7.1	R5.3.31	1,756,854	1,756,854	トイレ改修工事設計業務委託料 679,954円 トイレ改修工事費 1,076,900円	トイレの洋式化及び抗菌仕様の自動水栓等に変更したことで、新型コロナウイルス感染症予防対策につながった。 【担当課評価】 利用者から快適に利用できるようになったと意見があった。 【対象者等評価】

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(実施状況及び効果検証)

R5.11.14(火)更新

No.	補助・単独	交付対象事業の名称 【担当課】	「実施計画」策定時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	成果目標(可能な限り 定量的な指標を設定)	事業 始期 (年月 日)	事業 終期(年 月日)	総事業費 (円)	交付金 充当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
18	単	公園維持管理事業 【都市整備課】	①新型コロナウイルス感染症対策として、益田運動公園小球技場に併設する便益施設であるトイレについて、衛生環境等の向上を図るため、新たに換気扇の設置、抗菌仕様の材質への床・壁等の変更、便器を和式から抗菌仕様・蓋付の洋式に改修することで飛散を防ぎ、また合併浄化槽とすることで外部へ新型コロナウイルスを含む手洗い等の直接的な流出を防止する。 ②工事請負費 ③益田運動公園小球技場トイレ改修工事 18,000千円 ・トイレ建屋の改修 11,800千円×1棟=11,800千円 ・和式の洋便器化 2,200千円×1カ所=2,200千円 ・単独浄化槽(10人槽)から合併処理浄化槽(10人槽)への変更) 4,000千円×1基=4,000千円 ④益田運動公園小球技場便益施設(トイレ)	施設利用に起因する新型コロナウイルス感染者数0人 施設改修の年度内完了	R4.9.1	R5.3.31	14,314,300	14,314,300	①益田運動公園小球技場便益施設整備(建築)工事 11,426,800円 ②益田運動公園小球技場便益施設整備(設備)工事 2,887,500円	便器を和式から洋式に改修することで飛散の防止が図られた。また、合併浄化槽にしたことで外部への直接的な流出を防止することができた。 【担当課評価】
19	単	修学旅行等実施支援事業 【学校教育課】	①コロナ禍において、小中学校が計画する修学旅行や宿泊研修について、実施直前に県内や目的地で緊急事態宣言等が発出される等により、急遽キャンセルとなった場合のキャンセル料の保護者負担を軽減するために支援する ②③ 現在計画している小・中学校の修学旅行等の30～50%がキャンセルとなった場合を想定し費用を見込む ・小学校宿泊研修 1泊2日の食事代@2,660×60%×(379人×30%)÷180千円 ・小学校修学旅行 手配料@2,200×(343人×30%)÷220千円 ・中学校修学旅行 手配料@2,200×(548人×50%)÷600千円 ④修学旅行企画業者等	キャンセル料の保護者負担軽減の100%実施	R4.5.1	R5.3.31	58,656	58,656	小学校1校(鎌手小)の宿泊研修キャンセル料について支援を行った。	やむを得ない事情により中止をした宿泊研修のキャンセル料について保護者の経済的な負担軽減が図られた。 【担当課評価】
20	単	スクールサポートスタッフ配置事業 【学校教育課】	①学校施設の消毒業務にかかるスクールサポートスタッフを配置し、新型コロナウイルス感染拡大防止を図るとともに、教員の負担軽減を図る。 ②③パートタイム会計年度任用職員人件費のうち県支出金対象外の部分 ●小学校費(1～2時間/日 210日) ・報酬:420時間/年×4人 210時間/年×8人 計3,360時間×@1,120円/時間=3,764千円 ・旅費:350円/日×210日×12人=882千円 小計4,646千円(うち県補助金3,960千円) 【臨時交付金対象経費】686千円 ●中学校費(1～2時間/日 210日) ・報酬:420時間/年×3人 210時間/年×2人 計1,680時間×@1,120円/時間=1,882千円 ・旅費:350円/日×210日×5人=368千円 小計2,250千円(うち県補助金1,680千円) 【臨時交付金対象経費】570千円 ●交付金対象外経費 小計5,861千円 ※その他財源の内訳(県補助金:5,640千円、一般財源:5,861千円充当)	学校施設の利用に起因する新型コロナウイルス感染者数0人及びクラスター発生件数0件	R4.4.1	R5.3.31	6,423,943	1,009,000	小学校12校、中学校9校にスクールサポートスタッフを配置し消毒業務を行った。	各学校における感染症予防対策につながったとともに、教員の負担軽減にもつながった。 【担当課評価】

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(実施状況及び効果検証)

R5.11.14(火)更新

No.	補助・単独	交付対象事業の名称 【担当課】	「実施計画」策定時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	成果目標(可能な限り定量的な指標を設定)	事業 始期 (年月日)	事業 終期(年月日)	総事業費 (円)	交付金 充当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
21	単 教育環境整備事業 【教育総務課】	①コロナ禍においても、良好な教育環境の確保に取り組むため、新型コロナウイルス感染症対策として、換気機能の向上を図り、安全で快適な教育環境を提供するため、益田中学校の普通教室に空気清浄機能付又は換気機能付エアコンを整備する。 また、市内小中学校において、学校再編となった校舎等に設置していた活用可能な空調設備(空気清浄機能付又は換気機能付エアコン)を各学校の特別教室等へ移設し、特別教室内における換気機能の向上、生徒の3密回避等を図り、良好な教育環境を確保する。 ②A:益田中学校空調設備改善工事実施設計委託料及び空調整備改善工事請負費 B:市内小中学校空調設備移設等工事請負費 ③A:【委託料】益田中学校空調設備改善工事実施設計 1,000千円 【工事請負費】益田中学校空調設備改善等工事 31,300千円 ・普通教室14台、特別教室移設5台を含む。 (詳細)直接工事費20,961千円、共通費7,494千円、消費税2,845千円 B:【工事請負費】市内小中学校空調設備移設等工事10,800千円 ・対象校10校、15台 (詳細)小学校移設経費8,400千円、中学校移設経費2,400千円 ④A:市立益田中学校敷地内 B:市内小学校8校、中学校2校	学校施設利用に起因する新型コロナクラスター発生件数0件 エアコン(34台)の年度内設置完了	R4.7.11	R5.3.30	42,128,240	42,128,240	【益田中学校】 ①益田中学校空調機更新工事実施設計業務1,691,800円 ②益田中学校空調機更新(電気設備)工事9,025,500円 ③益田中学校空調機更新(機械設備)工事21,450,000円 【市内小中学校空調機移設】 (小学校)西益田小学校他8校空調機移設工事7,583,840円 (中学校)美都中学校図書室他空調機移設工事2,377,100円	益田中学校の空調機器を更新したことで、空気の循環が行われるなど衛生環境の向上につながり、一年を通じて良好な教育環境の提供が可能となった。 また、市内小中学校の特別教室等へ空調機を移設したことにより、換気機能の向上につながった。 【担当課評価】	
22	単 学校施設環境改善事業 【教育総務課】	①コロナ禍における避難所運営では、感染リスクを低減するため、複数個所への分散避難や感染者や濃厚接触者を隔離することが必要となってくる。災害発生時には避難所となる学校施設のうち、少子化の影響で長期間未使用となっている横田中学校及び吉田南小学校の空き教室の天井材を改修するなど衛生環境の改善を行うことで、より多くの避難可能スペースを確保し、三密対策や感染者等のプライバシーの保護を可能とする避難所としての施設整備を行う。 ②横田中学校及び吉田南小学校衛生環境改善工事請負費 ③横田中学校及び吉田南小学校衛生環境改善工事 61,900千円(内訳) ・横田中学校 25,450千円 詳細:直接工事費16,691千円、共通費6,446千円、消費税2,313千円 ・吉田南小学校 36,450千円 詳細:直接工事費24,713千円、共通費8,423千円、消費税3,314千円 ④市立横田中学校、市立吉田南小学校敷地内	学校施設利用に起因する新型コロナ感染者数0人及びクラスター発生件数0件 環境改善工事の年度内完了	R4.9.2	R5.3.30	61,867,300	61,867,300	【横田中学校】 横田中学校屋上防水修繕工事25,449,600円 【吉田南小学校】 吉田南小学校衛生環境改善工事36,417,700円	横田中学校及び吉田南小学校の屋上防水や天井材の改修、換気対策を図ったことで、避難可能スペースを確保し、三密対策や感染者等のプライバシーの保護を可能とする避難所としての機能確保が可能となった。 【担当課評価】	
23	単 旧割元庄屋美濃地屋敷環境改善事業 【協働のひとづくり推進課(匹見分室)】	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当該登録文化財施設内のトイレ便座及び手洗い場等感知式による非接触型の設備への改修を行うとともに、配管工事並びに床等修繕工事を実施する ②衛生用品等の購入経費及び改修経費 ③旧割元庄屋美濃地屋敷屋内トイレ改修工事 756千円 直接工事費 502千円 共通費 共通仮設費 18千円 現場管理費 66千円 一般管理費 101千円 消費税 69千円 ④旧割元庄屋美濃地屋敷(島根県益田市匹見町道川150)	施設利用に起因する新型コロナ感染者数0人 トイレ(1基)、非接触型設備の年度内整備完了	R4.5.23	R4.7.22	832,700	832,700	水漏れで使用できなかった長屋門内の男女トイレの改修を行った。なお、工事の過程で新たな対応が必要となった為、変更契約により増額となった。 当初予定 755,700円 変更契約 832,700円 77,000円の増額	改修工事を行ったことで、使用可能となったばかりか、手洗い栓を非接触型に変更したことで、コロナ等への対策にもつながり、尚且つ、秋から春にかけて寒い地域の為、新たにヒーター付き便座としたことで、利用者・管理者から感謝の言葉もいただいている。 【担当課評価】	

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(実施状況及び効果検証)

R5.11.14(火)更新

補 助 ・ 単 独	No.	交付対象事業の名称 【担当課】	「実施計画」策定時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	成果目標(可能な限り 定量的な指標を設定)	事業 始期 (年月 日)	事業 終期(年 月日)	総事業費 (円)	交付金 充当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
24	単	学校給食提供支援事業 【教育総務課】	①コロナ禍における地域経済の支援と学校給食を通じた食育推進の観点から、地場産物を使った学校給食の提供に係る経費を支援する。また、感染症等による臨時休校が発生した際の提供予定であった給食に係る材料費等の補填を行う。 ②③ ・学校給食に係る地場産物の材料費等 9,000千円 ・臨時休校が発生した際の負担金 2,000千円 ④市立高津学校給食センター及び美都給食調理場	・地元生産者への支援額:9,000千円 ・給食提供事業者の予算における材料費不足額の補填額:2,000千円	R4.4.1	R5.3.30	11,000,000	11,000,000	○学校給食に係る地場産物の材料費等 9,914,074円(高津分)9,452,260円(美都分)461,814円 ○臨時休校が発生した際の負担金 1,085,926円(高津分)1,079,158円(美都分)6,768円	地元でとれたジャガイモや特産品であるメロン、牛肉などを使った給食を提供したことにより、地元経済の支援につながるとともに、児童生徒の食育推進につながった。【担当者評価】 地元の牛肉を使った牛丼をおいしく食べることができた。【対象者(児童)からの評価】
25 27 28	単	ますだ地元経済応援事業費 【国のR4予算分(R4.9.20)】 【国のR4予算分(R4.4.28)】 【国のR3予算分】 【産業支援センター】	①コロナ禍において物価高騰等に直面する市民や事業者等を支援するため、各世帯への経済支援と新型コロナウイルス感染症により疲弊した地域経済及び地域活力の回復を図る為に「ますだ地元経済応援券」を発行する。 ②③ 市内全世帯へ10,000円分の応援券を交付する。 (21,239世帯×10千円=総額212,390千円) 事務経費 16,110千円 ※総事業費228,500千円 ※その他財源の内訳(一般財源:38,374千円充当) ④市内全世帯 21,239世帯 ※事業No25、27、28は同一事業(国の財源ごとに細分化)	換金額 212,390千円 (換金率100%)	R4.10.3	R5.3.31	221,017,153	218,235,704	・配布世帯数 20,875世帯 ・登録店舗数 494店 内 地元企業 447店 その他 47店 ・換金額 205,429,000円	・対象世帯(21,206世帯)の98.4%の世帯に対して、支援することができた。 ・商工団体との連携により、換金作業も速やかに行えた。 【担当課評価】 ・応援券による経済支援と地元での消費喚起を促すことで、地元企業への応援につながった。 【対象者等からの評価】
26	単	燃料費高騰緊急対策事業 【連携のまちづくり推進課】	①新型コロナウイルス感染症拡大の中、原油価格高騰による影響を受けたタクシー事業者への支援 ②令和3年度と令和4年度の燃料費の差額(12ヶ月分) ③想定台数(89台)×1台当たりの補助額(75.86千円) ※その他財源の内訳(県補助金:3,376千円充当) ④市内タクシー事業者	燃料費高騰に起因したタクシー事業者の休業:0日 燃料費高騰によるタクシー事業者の前年度予算対比における不足	R5.3.8	R5.3.31	1,768,000	884,000	益田市タクシー事業者燃料費高騰緊急対策事業交付金 15事業者(84台) 1,768,000円 ※財源内訳 県補助金:884,000円	燃料高騰による負担の軽減、コロナによる減収による負担の軽減等につながった。 【担当課評価】
29	単	福祉施設等感染症対策事業 【人権センター】	①新型コロナウイルス感染症対策のため、人権センターの空調機改善により換気時の館内環境を維持すること及びトイレ(トイレは抗菌仕様・蓋付の洋式に改修することで飛散を防ぐ)等の改修により衛生環境の改善を図る。 ②空調機の改善及びトイレ、オスメイト等改修工事 17,138,000円 ③ (1)空調機 多目的ホール 室内機6台、室外機3台、ロビー等 室内機3台 室外機1台 直接工事費 8,200千円、共通仮設費 336千円、現場管理費 1,097千円、一般管理費 1,447千円、消費税 1,108千円 (2)トイレ 小便器自動フラッシュバルブ4台、和式トイレから洋式トイレへ4台、オストメイト1台 直接工事費 2,900千円、共通仮設費94千円、現場管理費 875千円、一般管理費 631千円、消費税 450千円 ④人権センター	施設利用に起因する新型コロナウイルス感染者数0人及びクラスター発生件数0件 空調機(室内機9台、室外機4台)、小便器(4台)、トイレ(4台)、オストメイト(1台)の年度内整備完了	R4.11.24	R5.3.28	15,800,400	15,800,400	人権センター多目的ホール及びロビーの空調機の更新、トイレの改修を実施した。	空調機及びトイレの改修を行うことで、衛生環境の向上により感染予防対策につながった。 【担当課評価】 空調機及びトイレの改修により感染症対策が講じられ安心して使えるようになった。 【対象者等からの評価】
30	単	畜産経営緊急支援事業 【農林水産課】	①新型コロナウイルス感染症の影響を受ける農家において、県事業である「畜産経営緊急支援事業」の対象外となる小規模農家に対し、県事業相当の支援を実施する。 ②対象者農家へ飼養頭数に応じ補助金を交付 ③乳牛13千円+繁殖牛125千円=138千円 ④対象農家 17戸	支援事業者数:17件	R4.12.19	R5.3.31	128,600	128,600	対象農家17戸に対し、11戸が申請。	補助金交付により、畜産農家の経営支援につながった 【担当課評価】 畜産経営に対し、やや下支えとなった 【対象者等からの評価】

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(実施状況及び効果検証)

R5.11.14(火)更新

No.	補助・単独	交付対象事業の名称 【担当課】	「実施計画」策定時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	成果目標(可能な限り定量的な指標を設定)	事業始期(年月日)	事業終期(年月日)	総事業費(円)	交付金充当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
31	単	粗飼料緊急確保支援事業 【農林水産課】	①新型コロナウイルス感染症の影響を受ける農家において、県事業である「粗飼料緊急確保支援事業」の対象外となる小規模農家に対し、県事業相当の支援を実施する。 ②対象者農家へ飼養頭数または飼料購入実績に応じ補助金を交付 ③50千円(JA販売実績聞き取りに基づく) ④対象農家 17戸	支援事業者数:17件	R4.12.19	R5.3.31	29,100	29,100	対象農家17戸に対し、7戸が申請。  畜産経営に対し、やや下支えとなった 【対象者等からの評価】	補助金交付により、畜産農家の経営支援につながった 【担当課評価】
32	単	水道料金支援事業(給水世帯) 【上下水道部業務課】	①コロナ禍において物価高騰等に直面する市民や事業者等を支援するため、水道料金の基本料金を4ヶ月分減免する。 ②益田市水道事業会計に繰り出し、下記③に要する費用を交付する。 ③市内の水道使用者(官公庁は除く)の令和5年1月～4月請求分(令和4年11月～令和5年3月検針分)までの、基本料金及びメーター使用料を減免する。 (1)基本料金及びメーター使用料分 137,055千円 (内訳 13mm 13,170件 75,332千円 20mm 7,458件 47,582千円 25mm 582件 6,274千円 40mm以上 290件 7,867千円) (2)事務経費 10,983千円 ④給水件数 約21,500件(公共施設を含まない)	市内水道使用者(公共施設を除く)の減免件数:約21,500件	R4.10.31	R5.3.31	140,460,814	140,460,814	市内の水道使用者(官公庁は除く)の令和5年1月～4月請求分(令和4年12月～令和5年3月検針分)までの、基本料金及びメーター使用料を減免した。 (1)基本料金及びメーター使用料分 21,081件 132,333千円 (2)事務経費 8,127千円	○市の水道を使用している使用者に対し、水道料金の基本料金を減免することにより、市民や事業者の生活や経済活動を支援することができた。 ○手続き不要で、基本料金が減免され、生活費等の負担軽減につながった。 【対象者等からの評価】
33	単	上水道未給水世帯生活支援給付金事業 【環境衛生課】	①コロナ禍における原油価格及び物価の高騰等により生活に影響を受けている市内の上水道未給水世帯に対し、生活を支援することを目的として給付金を支給する。 ②上水道未給水世帯生活支援給付金事業に係る経費 ③消耗品費、広報掲載料 67千円 決定通知書郵券料、振込手数料 481千円 上水道未給水世帯生活支援給付金 13,613千円 (※一世帯当たり 5,500円×2,475世帯) ④上水道未給水世帯	上水道未給水世帯への生活支援給付金給付率:100%	R4.10.1	R5.3.31	2,173,100	2,173,100	申請に基づき給付金を支給した。 支給件数 383件 支給金額 2,106,500円	給付金を支給することにより上水道未給水世帯に対しても生活支援等を行うことができた。 【担当課評価】
34	単	消防救急活動感染症対策事業 【消防本部総務課】	①感染防止対策資機材を購入配備し、新型コロナウイルス感染症に対してより安全に救急業務を遂行するとともに、職員の感染リスクを軽減する。 ②感染者の搬送業務の増加及びこれに伴う防疫作業による増加に必要な資機材の購入経費とする。事業主体は益田市・津和野町・吉賀町で構成する広域事務組合となるため、益田市負担割合(63.66%)分を広域会計に繰り出し交付する。 ③・アイソレーターカバー: @25,000円×14セット=350,000円 // フィルター: @33,000円×3セット=99,000円 ・消毒用エタノール: @980円×40個×7月=274,400円 小計 723,400円 消費税等 72,340円 総額 796,000円 (うち益田市負担額:507千円)※益田市負担割合:63.66% ④益田広域消防本部	救急業務の遂行に起因する新型コロナ感染者数0人及びクラスター発生件数0件  アイソレーターカバー(14セット)、アイソレーターフィルター(3セット)、消毒用エタノールの年度内整備完了	R4.11.16	R5.3.22	506,568	496,000	・アイソレーター、フィルター 新型コロナウイルス感染症陽性者及び濃厚接触者の搬送時に使用した。 ・消毒用エタノール 上記の伴う防疫作業時に使用した。	アイソレーターを使用することで隊員への感染リスクを軽減することができ、また、防疫作業を確実に行うことで傷病者への感染リスクの軽減にもつながった。 【担当課評価】

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(実施状況及び効果検証)

R5.11.14(火)更新

No.	補助・単独	交付対象事業の名称 【担当課】	「実施計画」策定時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	成果目標(可能な限り定量的な指標を設定)	事業 始期 (年月日)	事業 終期(年月日)	総事業費 (円)	交付金 充当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
35	単	介護認定審査判定事業 【広域市町村圏事務組合介護福祉課】	①介護認定審査会(医者1名、保健師(看護師)2名、福祉関係者2名で構成しており、特に新型コロナウイルス感染症予防対策が必要)を分散(オンライン)で開催し、審査会での新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する。 ②広域会計に繰り出し、分散開催用のタブレット端末、スピーカー・マイク等の購入及びそれに関係する通信運搬費を交付する。 ③450千円(うち益田市負担額:309千円)※益田市負担割合:68.66%(内訳) タブレット代 80千円×3台=240千円 スピーカー・マイク代 50千円×3組=150千円 通信運搬費10千円×6カ月=60千円 ④介護認定審査会	介護認定審査会の開催に起因する新型コロナ感染者数0人  タブレット(3台)、スピーカー・マイク(3組)の年度内整備完了	R4.12.9	R5.3.31	356,991	246,000	介護認定審査会(オンライン開催)5回実施した。 (益田1班1回、益田2班2回、益田3班2回) 電話録取方式による変更率 1.3% 通常審査による変更率(令和4年度見込)4.4%	介護認定審査会場を複数使用し、対面とオンラインのハイブリット開催で実施した。 従来は感染防止対策として各委員個別に電話録取方式で意見をとりまとめていたが、委員同士の審議ができなかったことが課題となっていた。タブレット端末を使用した分散開催で感染リスクの回避を取りつつ審議を行うことができた。今後も同様な自体が発生した場合、ハイブリット開催を行うこととした。 【担当課評価】
36	単	地方バス路線維持特別支援事業 【連携のまちづくり推進課】	①新型コロナウイルス感染症拡大の中、地域生活交通を維持するために運行を継続している乗合バス事業者を支援する。 ②運行経費等の一部を交付する ③(人件費+燃料費)×影響期間 ※前年度実績額(1,000千円) ④市内乗合バス事業者(1者)	利用者数減少によるバス路線廃止本数:0件	R4.12.1	R5.3	1,000,000	1,000,000	益田市地方バス路線維持特別支援事業交付金1件(1事業者)1,000,000円	燃料高騰による負担の軽減、コロナによる減収による負担の軽減等につながった。 【担当課評価】
37	補	疾病予防対策事業費等補助金 【子ども家庭支援課】	(特定感染症検査等事業(緊急風しん抗体検査等事業)) ①新型コロナウイルスの感染拡大の影響による受診控えによって、風しんの予防接種を受ける機会のなかった男性に対する抗体検査・予防接種の進捗が国の掲げる目標に達していないため、抗体検査・予防接種の期間を延長(R3まで→R7まで)して実施する。 ②感染症予防事業費等国庫負担(補助)金(特定感染症検査等事業(緊急風しん抗体検査等事業))の補助対象のうち、地方負担額部分(1/2)に充当。 ③クーポン印刷費107,600円(窓あき封筒、色上質紙、ファイル等:30,000円、広報ますだ掲載料:11,600円、勸奨はがき印刷代:66,000円)、クーポン発送費213,200円(未受検者:198,400円、未接種者:6,400円)、クーポン再発行:8,400円)、事務手数料300,000円(300円×1,000人)、検査委託料5,816,250円(1,000人) 総事業費:6,437,050円(内、R3分:512,000円) 総事業費(R3分)512,000円×補助率1/2=国庫補助額(R3分)256,000円 その他:総事業費(R3分)512,000円-国庫補助額(R3分)256,000円=一般財源256,000円(内、R3分一般財源:51,000円) ④昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性	R7.3末までに抗体保有率90%	R4.4.1	R5.3.31	512,000	205,000	対象者3,033名へ令和4年4月にクーポン券を一斉送付した。  ○実績(2月受診分まで) 抗体検査数:127件 郵券料:210,888円 検査委託料:754,182円 手数料:38,100 消耗品費:31,460円 印刷製本費:171,930円	効果検証中
38	補	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 【環境衛生課】	①2050年までの脱炭素社会を見据えたロードマップ策定により地域循環共生圏の実現に向けて再生可能エネルギーの導入目標を具体的に設定することで、再生設備導入を促進して新型コロナウイルス感染症拡大により深刻な影響を受けている事業者の事業継続や、地域や家庭における生活支援に繋げる。 ②ロードマップ策定業務委託料 9,999千円(内、一般財源分 2,500千円(市負担率1/4)) ③委託料総額の経費内訳 直接人件費 3,467,200円、その他原価費 1,867,087円 直接経費 579,700円、一般管理費等 3,176,013円 消費税額 909,000円 ※その他財源の内訳(一般財源:500千円充当) ④地方公共団体	事業者にロードマップを示すことで、今後の事業の参考となり、事業継続に繋がることやR4廃業者ゼロを目指す。	R4.9.2	R5.1.31	9,999,000	-	「益田市地域脱炭素計画」を策定	本市における再生エネルギー導入が推進されることにより、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている方の事業継続や生活支援に繋げられる「益田市地域脱炭素計画」を策定することができた。 【担当課評価】

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(実施状況及び効果検証)

R5.11.14(火)更新

補 助 ・ 単 独	交付対象事業の名称 【担当課】	「実施計画」策定時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	成果目標(可能な限り 定量的な指標を設定)	事業 始期 (年月 日)	事業 終期(年 月日)	総事業費 (円)	交付金 充当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
39 補	妊娠出産子育て支援交付金 【子ども福祉課】	①コロナ禍において物価高騰等に直面する妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備並びに妊娠届出時及び出生届出後の財政的な支援を行う。 ②妊娠届出時及び出生届出後に合計10万円相当の給付を行う ③経費内訳 ・妊娠届出時 140人×5万円=7,000千円 ※事業開始時以降に妊娠した者 ・出生届出時 270人×10万円=27,000千円 ※事業開始時以前R4.4.1以降出産した者には、妊娠時分と出産時分を遡及して支給 ・事務費 1,734千円 (うち) 人件費(会計年度任用職員2名分) 1,376千円 需用費(消耗品費 200千円、印刷製本費 50千円) 250千円 役務費(郵送料 47千円、振込手数料 61千円) 108千円 積算合計 35,734千円(内、市負担分(1/6) 5,957千円) ※その他財源の内訳(県負担分(1/6):5,955千円充当) ④令和4年4月1日以降に出生又は妊娠した者	・伴走型相談支援実施率:100% ・子育て応援交付金給付率:100%	R5.2.8	R5.3.31	26,444	-	妊婦(遡及)106人 出産(遡及)1人 妊娠・出産(遡及)193人 妊娠30人 出産4人 に各5万円を給付	コロナ禍においても、本事業の実施により、安心して妊娠、出産することができる環境整備の一助となった。 【担当課評価】  ・出産、子育ての十分な下支えになった。 【対象者等からの評価】
40 補	子ども・子育て支援交付金 【子ども福祉課】	①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、放課後児童クラブにおいて、感染症に対する強い体制を整え、感染症対策を徹底しつつ、事業を継続的に提供していくために必要なマスク、消毒液等の衛生用品購入等に必要となる経費(各施設300千円から400千円)を補助する。 ②衛生用品等の購入経費 ③6,700千円(内、市負担分(1/3) 2,234千円) 【内訳】 300千円×1施設=300千円 400千円×16施設=6,400千円 ※その他財源の内訳(県負担分(1/3):2,233千円充当) ④市内放課後児童クラブ 17クラブ	施設利用に起因する新型コロナウイルス感染者数0人及びクラスター発生件数0件	R4.11.21	R5.3.31	6,581,000	2,195,000	各クラブからの申請に応じた新型コロナウイルス感染症対策衛生用品費を委託料に加算した。	マスクや消毒液以外にも感染対策に有効な設備等も購入するなど、感染症予防対策と併せて、施設の環境改善も行うことができた。 【担当課評価】  施設の感染症対策となった。 【対象者等からの評価】
41 補	保育対策総合支援事業費補助金 【子ども福祉課】	①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保育所等において、感染症に対する強い体制を整え、感染症対策を徹底しつつ、事業を継続的に提供していくために必要なマスク、消毒液等の衛生用品購入等に必要となる経費(各施設400千円から500千円)を補助する。 ②衛生用品等の購入経費 ③13,800千円(内、市負担分(1/2) 6,900千円) 【内訳】 300千円×2施設=600千円 400千円×18施設=7,200千円 500千円×12施設=6,000千円 ④市内保育所、認定こども園、地域型保育事業所 32施設	施設利用に起因する新型コロナウイルス感染者数0人及びクラスター発生件数0件	R5.1.31	R5.3.31	11,630,000	5,815,000	新型コロナウイルス感染症対策衛生用品費を希望する各施設に実績に応じて補助した。	マスクや消毒液以外にも感染対策に有効な設備等も購入するなど、感染症予防対策と併せて、施設の環境改善も行うことができた。 【担当課評価】  施設の感染症対策となった。 【対象者等からの評価】
42 補	介護保険事業費補助金 【高齢者福祉課】 【情報システム課】	①「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を踏まえて実施された、令和4年度介護報酬改定(ベースアップ等加算)に対応するためのシステム改修を行い、迅速かつ適正に介護事業所へ介護給付費の支払いが行われる環境を整備する。 ②マイナンバーを利用した情報連携に係るデータ標準レイアウト改版対応システム改修経費 ③経費内訳 パッケージ 187,000円 SE作業費 288,750円 ※その他財源の内訳(一般財源:32,000円充当) ④益田市	国の介護報酬改定(処遇改善)に伴う保険給付費の上乗せ(加算新設)に対応するためのものであることから、利用者数や事業所数の目標設定は困難であるが、国保連合会の請求に対し、遺漏なく100%支出することにより、事業所職員の処遇改善を図る。	R4.5.31	R4.9.30	469,975	127,000	介護保険システム改修実施経費:パッケージ187,000円、SE作業費 282,975円	介護報酬改定等に対応するためシステム改修を行い、迅速かつ正確に介護給付費の支払いができる仕組みを構築することができた。 【担当課評価】

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(実施状況及び効果検証)

R5.11.14(火)更新

No.	補助・単独	交付対象事業の名称 【担当課】	「実施計画」策定時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	成果目標(可能な限り 定量的な指標を設定)	事業 始期 (年月 日)	事業 終期(年 月日)	総事業費 (円)	交付金 充当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
43	補	新型コロナウイルス感染症 セーフティネット強化交付金 【健康増進課】	(新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化事業) ①コロナ禍において、緊急時安心相談事業として、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける市民や支援者自身の不安や悩みの解消を図ることを目的に、専門家に相談できる窓口を設置する。 ②委託料 ③精神医療を担う医療機関への業務委託料 500千円(内、市負担分(1/4)125千円) 【内訳】市民や支援者の緊急相談・安心相談として電話や対面で相談を実施。年間約500件 ④益田市	相談支援体制の整備により、不安等を感じる人の人数ゼロを目指す。	R4.4.1	R5.3.31	500,000	125,000	相談実績 総件数 434件 内訳 小児～思春期 12件 成人 235件 高齢者 187件 その他 0件 業務委託料 500千円	コロナ禍による影響が生活全般に多岐に及ぼしているため、相談内容も複雑な事案が多い。専門家に支援対応の具体的なアドバイスをもらうことにより、支援者の不安や悩みを解消でき、適切な支援につなげることができた。 【対象者等からの評価】  専門家の相談を随時受けることにより、支援者の相談スキル向上が図られた。 【担当課評価】
44	単	キャンプ場環境改善事業 【観光交流課】	①キャンプ場での新型コロナウイルス感染症予防対策として、換気機能の向上を図り、安全で快適な環境を提供するため、空調機器(エアコン、換気扇)等の補修改善を行う。 ②空調機設置及び換気扇改修に係る工事請負費 ③【工事請負費】 3,071,200円 ・食堂空調機設置工事 2,312,200円 空冷式ヒートポンプエアコン(1台) ・換気扇改修工事 759,000円 有圧換気扇(4台) ④益田市、対象施設(匹見レストパーク食堂のエアコン、匹見レストパークバーベキューハウスの換気扇)	施設利用に起因する新型コロナ感染者数0人  換気扇(4台)、食堂エアコン(1台)の年度内整備完了	R4.4.1	R5.3.31	3,071,200	3,071,200	匹見レストパーク ・食堂空調機設置工事 2,312,200円 ・換気扇改修工事 759,000円	エアコンや換気扇等を改修したことで、新型コロナウイルス感染症予防対策につながった。 【担当課評価】  利用者から快適に使用できると意見があった。 【対象者等からの評価】
45	単	子ども支援センター環境改善 事業 【協働のひとつり推進課】	①子ども支援センターでの新型コロナウイルス感染症対策として、換気機能の向上を図り、安全で快適な環境を提供するため、空調機器の補修改善を行う。 ②空調機器等補修改善経費 ③壁掛け空調機 2台 484,000円 取り付け費 55,000円、撤去工事 33,000円 諸経費 44,000円 合計 616,000円 ④益田市、対象施設(子ども支援センターのエアコン)	施設利用に起因する新型コロナ感染者数0人及びクラスター発生件数0件  エアコン(2台)整備の年内完了	R4.7.5	R4.7.21	616,000	616,000	子ども支援センター1階の相談室である、ほっとルーム①及びほっとルーム②へ壁掛け空調機を設置し、換気環境の向上を図った。	空調設備が機能することにより、換気を行いつつ適切な室温の維持が可能となった。密閉状態を避けることが可能になり、新型コロナウイルス感染症予防につながった。 <担当課評価>  基本的な感染症対策を実施するとともに、利用者にも感染症対策の協力を得ることで新型コロナウイルスの感染者を抑制を図ってきたが、空調機の設置により換気機能の向上が図られ、利用者が安心して施設を利用できる環境が整った。 <施設からの評価>

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(実施状況及び効果検証)

R5.11.14(火)更新

No.	補助・単独	交付対象事業の名称 【担当課】	「実施計画」策定時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	成果目標(可能な限り定量的な指標を設定)	事業始期(年月日)	事業終期(年月日)	総事業費(円)	交付金充当額(円)	実施状況	効果検証 【担当課評価】 【対象者等からの評価】
46	単	ふれあいホールみと環境改善事業 【協働のひとつづくり推進課】	①ふれあいホールみとでの新型コロナウイルス感染症対策として、換気機能の向上を図り、安全で快適な環境を提供するため、空調機器の補修改善を行う。 ②空調機器等補修改善経費 ③スクロール圧縮機 1台 208,600円 インバータ基盤 1台 201,600円 付属品組立・基盤必要部品 1式 12,200円 交換工事費 1式 50,000円 ガス回収作業費 1式 25,000円 異常箇所調査費 1式 8,000円 試運転調整費 1式 8,000円 消費税 10% 51,340円 合計 564,740円 ④益田市、対象施設(ふれあいホールみとのエアコン)	施設利用に起因する新型コロナウイルス感染者数0人及びクラスター発生件数0件 エアコン(1台)整備の年度内完了	R5.1.23	R5.1.27	564,740	564,740	【ふれあいホールみと】 ・スクロール圧縮機1台交換 229,460円 ・インバータ基盤1式交換1階口 221,760円 ・組立、基盤必要品等の費用 113,520円	・冬季は、冷気を遮断する方法しかなかったが、改修後は常に換気が可能となり、換気を行いつつ適切な室温の維持が可能となった。密閉状態を避けることが可能になり、新型コロナウイルス感染症予防につながった。 <担当課評価> ・最も使用頻度の高い研修室は、絵手紙教室、布あそび教室、陶芸教室等での利用が多く、その殆どは高齢女性である。 ・冬季は、サーキュレーターを温風に、扉も窓も閉切った状態で使用していたが改修により、扉と窓ガラスを開けた状況で換気も可能となり、利用者からは「安心して利用できる」と嬉しい評価を多くいただいている。 <対象者等からの評価>
47	単	高齢者福祉施設等環境改善事業 【高齢者福祉課】	①美都デイサービスセンター及び特別養護老人ホーム美寿苑での新型コロナウイルス感染症対策として、空調機器の補修改善を行うことにより、常時換気可能な環境を整備することができ、利用者(高齢者)へ安全で快適な環境の提供を行う。 ②空調機器等補修改善経費 ③事業費合計:34,815,000円 【美都デイサービスセンター】 ビル用マルチエアコン5台:1,271,992円、室外機:1,161,578円、取付費等:222,478円、撤去工事:93,005円、発生材処理:54,242円、共通仮設費:63,800円、現場管理費:577,500円、一般管理費:570,405円 小計:4,015,000円 【特別養護老人ホーム美寿苑】 ビル用マルチエアコン30台:7,117,000円、室外機6台:10,076,000円、システムマルチエアコン2台:236,500円、室外機1台:167,200円、総合管理機器:125,400円、取付費等:1,527,977円、仕上材復旧等:834,408円、空気調和設備配管:860,728円、撤去工事:713,711円、発生材処理:854,674円、仮設工事費:994,061円、共通仮設費:770,682円、現場管理費:2,967,129円、一般管理費:3,554,530円 小計:30,800,000円 ④益田市、対象施設(美都デイサービスセンター及び特別養護老人ホームのエアコン)	施設利用に起因する新型コロナウイルス感染者数0人及びクラスター発生件数0件 エアコン(37台)整備の年度内完了	R4.4.1	R5.1.31	34,815,000	19,415,000	【美都デイサービスセンター】 空調設備:4,015,000円 【特別養護老人ホーム美寿苑】 空調設備:30,800,000円 合計34,815,000円	感染対策について高度な配慮を必要とする高齢者施設において、空調設備の更新を行うことで、常時換気可能な環境を整備することができた。 【担当課評価】
48	単	学校施設衛生機能整備事業 【教育総務課】	①新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、男女兼用となっているバリアフリートイレについて、障がい有する児童の排泄物処理に必要なシャワーブースを設置することにより、飛沫防止及び衛生機能の充実にを図る。 ②トイレ改修工事経費 ③工事請負費2,000千円 直接工事費 1,248千円 共通費 共通仮設費 29千円 現場管理費 276千円 一般管理費 265千円 消費税 182千円 ④吉田小学校	施設利用に起因する新型コロナウイルス感染者数0人 シャワー室の年度内整備完了	R5.2.28	R5.3.30	1,988,800	1,988,800	吉田小学校トイレ設備改修工事 1,988,800円	シャワーブースを設置したことにより、排泄物処理を容易に行うことができたほか、飛沫の拡散を抑えることが可能となり、感染症対策につながることができた。 【担当者評価】